

平成28年度 社会福祉法人茨城県共同募金会神栖市支会 第1回委員会 議事録

開催日時 平成28年5月18日(水) 午前9時10分から午前9時55分まで

開催場所 神栖市保健・福祉会館 2階 会議室1

出席委員名 今郡利夫、小島真知子、高安俊昭、柳堀弘

出席監事名 中山照明、日高勝利

議長選出 全員一致で、小島真知子委員を互選

協議・決定事項(1) 支会長及び副支会長の互選について(資料p1)

議長より、正副支会長とも前任期に引き続き、支会長には社協会長である保立委員、副支会長には社協副会長の今郡委員を選任してはどうかと提案があり、審議の結果、以下の2名を互選した。

支会長 保立 一男 委員 副支会長 今郡 利夫 委員

協議・決定事項(2) 平成27年度支会事業報告及び収支決算について(資料p2~6、10)

事務局(相良)より会議等開催状況並びに27年度募金実績について報告。27年度は職域募金の協力事業所が増加し、戸別募金については行政区等で取り組まれたところが8カ所あったことで、募金総額も前年度を大きく上回る結果となったことを報告。募金箱募金、イベント募金については前年度実績を下回ったが、前年同時期に台風18号災害被災地(常総市ほか)への義援金が募集(9、10月のイベント募金は全て義援金に)されていたことの影響を受けたことを補足説明した。

その後、中山監事より監査報告の後、質疑に入る。委員との質疑、委員からの意見は次の通り。

今郡委員) 募金箱募金は今後もっと増えると考えているか。

事務局) 募金箱募金設置協力店の数でいうと、閉店等により設置できなくなる所が毎年数件あり新規店舗分が単純増加しているわけではありません。また、市内で来客規模が大きいお店は既に設置しており、去年の新規設置は小さいお店が多かったため募金額も少なく、結果として一店あたりの募金平均額は下がっています。今後も募金箱募金の努力は続けますが、募金額の増える見込みの幅としては、募金箱よりも、職域や行政区による協力の方が大きいと考えています。(相良)

日高監事) 去年から設置をお願いした店の実績が少ないということだったが、最近お願いした店のほうが、以前よりお願いしていた店より募金額が少ないという傾向はあるのか。

事務局) お願いした時期というよりは、そのお店の大きさや、訪れるお客さんの数に左右されるように感じます。全体的に大店舗ほど募金額も多くなる傾向があります。(相良)

質疑終了後、審議に入り、結果、全員一致で原案通り決定した。

協議・決定事項(3) 平成28年度支会事業計画(案)及び収支予算(案)について

(資料p7~9、11、12)

事務局(相良)より、28年度は「募金箱募金(目標250箇所)」「職域募金(社協法人会員募集と合わせ600法人へ依頼)」に加え、「行政区・自治会を単位とした募金」への呼びかけを行っていく計画としたこと、これをふまえ収入予算(28年度募金の神栖市の目標)は、27年度実績の1.5倍となる150万円としたことが説明され、その後審議に入った。

委員との主な質疑、委員からの意見(要旨)は次の通り。

日高監事) 各行政区へお願いして戸別募金の協力地区を増やしたいということだが、行政区へお願いする募金形態は終了させたのではなかったか。やり方を元に戻して、戸別募金を復活させるということだとすると、行政区の方でも困惑するのではないか。

事務局) どの募金形態でも当支会の方針である「自由意思」「強制の排除」は変えません。行政区に対しても従前のような「1世帯あたりの目安額指定」「名簿への記載」を伴う依頼ではなく、「神栖市全域で展開される共同募金運動に、行政区という単位でも取り組んでみませんか」というご案内をしてまわる予定であります。やるかやらないか、こういった手法でやるかは、全て行政区の中で検討してもらい、たとえば「区費の中から一定額を拠出しよう」「区のお祭り会場に募金箱を置いて募ろう」「区としては集めないが、区内にある募金箱への募金協力をPRしよう」など、行政区で自由に決めていただけるようご案内できればと考えています。(橘田局長)

中山監事) 去年は義援金の影響で募金箱等の実績が下がったというように、募金というものは元来結果(実績)を予測しにくく流動的なもの。今後募金額を底上げしたいのなら、安定・確定的に確保できる手法を考えていかないといけない。これは社協の財源獲得手法にも当てはまると思う。

あと、今年の職域募金には私の園(土合舎利保育園)も協力するのでよろしくお願いします。

質疑終了後、審議に入り、結果、全員一致で原案通り決定した。

5. 閉 会

以 上